

9/29～「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」を開催
紀伊國屋書店新宿本店3階アカデミック・ラウンジで、「日本」を海外からの視点を交えて学ぶ連続イベント開催

相模女子大学・相模女子大学短期大学部（所在地：神奈川県相模原市南区、学長：田畑雅英、以下「相模女子大学」）は、学術研究の拡充と活性化を図り、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に「相模女子大学日本学国際研究所」を開設いたしました。このたび、本学がこれまでに培った様々な分野での日本学に関する研究成果の一端を、ゲストも交えて紹介するシリーズイベント「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」を、紀伊國屋書店新宿本店アカデミック・ラウンジにて、今年度より開催することになりました。2024年度は、9月29日（日）、11月10日（日）、1月26日（日）、および3月16日（日）の4回開催いたしますので、お知らせいたします。

昨今、国内外で日本の伝統芸能、芸術、食文化や食材、自然や地域との共生の世界観、さらにはアニメやマンガといった日本文化が幅広く深く受け入れられています。また、多様な観点から「日本学」に対する研究が国際的に活発に進められています。相模女子大学では、人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたり、幅広い研究成果が蓄積されています。

異なる視点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信をすることによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると本研究所は考えています。

本イベントでは、市民の皆さまに広くご紹介することを目的としており、参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。取材を通じて、相模女子大学日本学国際研究所の取り組みをご理解いただく機会になれば幸いです。

「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」概要

会場：紀伊國屋書店新宿本店3F アカデミック・ラウンジ

時間：各回14：00～15：30（開場13：40～）

参加費：無料

申込：着席での参加を希望の場合、右記二次元コードもしくは相模女子大学ホームページ内にある紀伊國屋書店新宿本店アカデミック・ラウンジページよりお申し込みが必要です。

相模女子大学ホームページ https://www.sagami-wu.ac.jp/info/20240906_14/

※事前申し込みがなくても立ち見で参加いただくことが可能です。当日直接会場にお越しください。

**■相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英 コメント**

相模女子大学は、2025年で創立125周年を迎える歴史ある大学で、近年では全国各地と連携した社会貢献活動を積極的に行い、非常に高い評価をいただいております。

相模女子大学日本学国際研究所は、学術研究を行なうだけでなく、その成果を広く一般の方々に還元することを重要な目的としています。このたび開催する当シリーズはそうした活動の一環ですが、決して堅苦しいものではありません。知的な発見を楽しみながら、日本のさまざまな文化的・社会的なテーマをぜひ一緒に考えてみませんか。

どうぞお気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

■相模女子大学日本学国際研究所 所長 山田 純 コメント

こんにちは。山田です。本研究所が描く未来についてお話ししましょう。訪日外国人が過去最多を更新し続けています。しかし、私たちは世界の人々をどれほど知っているのでしょうか。私たちが知る、私たちの地域ほどには、私たちは世界のことを知りません。

世界の側から見た日本を研究することで、世界の側が私たちに、私たちの地域に、何を見出しているのか考えてみたいと思います。地域貢献活動で評価をいただいている本学ならではの、地域と世界を結び架け橋になる、そうした研究所でありたいと思っています。

相模女子大学日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店アカデミック・ラウンジシリーズ

相模女子大学
日本学国際研究所と
学ぶ・知る・考える

125th Anniversary since 1899

2024.9.29 SUN vol.1
山田 純
相模女子大学文学部日本語日本文学科 教授
相模女子大学日本学国際研究所 所長
「漢文・アニメ・国際」で大喜利するト
一典拠を踏まえるオマージュの世界～

vol.2 2024.11.10 SUN
歌舞伎を世界へ 窪寺 祐司
～歌舞伎の映像化コンテンツが秘める可能性～
松竹株式会社演劇ライツ部 部長

2025.1.26 SUN vol.3
岩下 朋世 マンガが描く少女マンガ家
相模女子大学文学部メディア情報学科 教授
相模女子大学日本学国際研究所 研究員
～少女マンガをめぐるイメージの変遷～

vol.4 2025.3.16 SUN
日本近代美人画の魅力 今西 彩子
～日本画家・鍋木清方とその一門を中心に～
鎌倉市鍋木清方記念美術館 学芸員

【参考資料】各講義内容、講演者プロフィール

9月29日（日） 14:00～15:30 「漢文・アニメ・国際」で大喜利するとー典拠を踏まえるオマージュの世界ー

講師：山田 純（学芸学部日本語日本文学科 教授、相模女子大学日本学国際研究所 所長）



漢文には、過去の作品の一部を模倣しながら書く、「典拠を踏まえる」という「書き方の作法」があります。つまり、「オリジナル」であることが減点となるのです。今とは正反対ですよ。

正反対なのですが、本当に「今と昔では、たいそう違っているなあ」なのでしょう。現存する日本最古の『古事記』（712年）から続くこの国の文学史が、1300年に及ぶ不変の「典拠文学」であり、その中には現代アニメが含まれている、そんなお話をいたします。

11月10日（日） 14:00～15:30 歌舞伎を世界へ ～歌舞伎の映像化コンテンツが秘める可能性～

講師：窪寺 祐司氏（松竹株式会社演劇ライツ部 部長）



「歌舞伎を観てみたいけど、いきなり劇場へ行くのも緊張する…」という方も多いのでは？実は、「映像」で歌舞伎を楽しむ方法もたくさんあるのです。歌舞伎座の臨場感を映画館で味わえる「シネマ歌舞伎」、時間や場所を選ばずに好きな時に歌舞伎を楽しめる「歌舞伎オンデマンド」などなど…。さまざまなニーズに応えながら歌舞伎の鑑賞方法も多様化しています。映像で楽しめる作品の中からいくつかの演目を取り上げて、歌舞伎のみどころや、海外での展開についてもご紹介いたします。

歌舞伎がぐっと身近になる講座をお楽しみに！

2025年1月26日（日曜日） 14:00～15:30 マンガが描く少女マンガ家 ～少女マンガをめぐるイメージの変遷～

講師：岩下 朋世（学芸学部メディア情報学科 教授、相模女子大学日本学国際研究所 研究員）



少女マンガ家が登場するマンガ作品から、少女マンガをめぐるイメージの変遷を読み解いていきます。

2025年3月16日（日曜日） 14:00～15:30 日本近代美人画の魅力 ～日本画家・鍋木清方とその一門を中心に～

講師：今西 彩子氏（鎌倉市鍋木清方記念美術館 学芸員）



近代の日本画には、女性を題材にした美人画と呼ばれる作品群があり、明治から昭和前期にかけて様々な画家により多数描かれました。

本講座では、日本の美人画の海外での紹介や評価を踏まえつつ、巨匠と呼ばれた鍋木清方の多岐にわたる画業と弟子たちの作品を中心にご紹介し、美人画の魅力に迫ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

TEL: 080-5083-6834 / e-mail: t-yonezawa@onepurpose-pr.com

学園キャラクター
さがっば・ジョー